



小中一貫教育研究会の提言 その1

これまで東伊豆町の教育の在り方検討の経過や国の教育の方向、小中一貫教育の概要と成果・課題についてお知らせしてきました。

本年度は、小中一貫教育研究会の検討内容を基に、保護者・地域の皆様への説明会を開催し、多くの皆様からご意見をいただきたいと考えています。

今回から、説明会に向けて、「東伊豆町小中一貫教育研究会」の研究でまとめられた提言の内容をご紹介します。（研究報告書は、東伊豆町のホームページでご覧になることができます。）

提言 1

東伊豆町のこれからの教育の方向は、小中一貫教育を推進することが望ましい。



東伊豆町の新たな教育を創造する

児童生徒数の急激な減少、子どもたちを取り巻く社会状況の大きな変化の中で、東伊豆町の子どもたちに必要な教育環境はどうあったらよいかという視点に立ち、小中一貫教育をめぐる国の動向や制度、小中一貫教育の特色の研究、小中一貫校の視察を通して協議を行った。

これまでの学校制度の中での教育環境整備に留まらず、学校教育法の改正により可能となった制度を活用し、東伊豆町の子どもたちを育てるためにより効果的な形態である小中一貫教育を進めることが望ましい方向である。

未来に生きる子どもたちのために、地域の力を結集した新たな教育を創造するという強い決意をもって小中一貫教育を進めたい。

学力向上への取組の充実を図る

先進的に小中一貫教育に取り組んでいる学校では、小中の教員が9年間を見通した指導計画に基づいた授業を行うことで、学力向上につながる成果をあげている。特に、小学校段階での中学校英語教員による授業など、これまで難しかった専科指導体制を取り入れることで指導の充実を図る取組が注目される。小学校における専科教員の授業は、今後、国が力を入れて進めようとしている教育充実の方向であり、東伊豆町としても、新たな学校づくりにおいて実現したい。

さらに、小学校・中学校の教員同士がコミュニケーションを密にとることで、授業の質の向上や、教員の資質の向上が期待でき、手厚い指導体制による学力の向上が期待できることから、新たな教育の枠組みである小中一貫教育を取り入れることが、東伊豆町の教育の方向として望ましいと考える。



★ご質問・ご意見は、東伊豆町ホームページの【お問い合わせ】か
東伊豆町教育委員会【電話】0557-95-6207 【〒】413-0411 東伊豆町稲取3354
【メール】kyouiku@town.higashiizu.lg.jp お願いします。